

(3) 2015年(平成27年)10月19日(月曜日)

OCHISセミナー SAS対策事業10年 特別講演と基調講演



NPO法人ヘルスケア
ネットワーク(OCHIS)
S、理事長・武田裕阪大
名誉教授・慈慶医療科学
大学院大学学長)は9日、
大阪大学中之島センター
で睡眠時無呼吸症候群

(SAS)対策事業10周年を記念した「第10回OCHISセミナー」を開催。行政や運輸事業者、医療関係者ら約100人が出席した。

武田理事長(写真)は冒頭の挨拶で、OCHIS設立の経緯を説明。黒田悦子保健師がこれまで蓄積してきたSAS対策データから見る10年の事業の奇跡を紹介した。

セミナーは特別講演と基調講演に分け、特別講演では「間違いだらけの疲労の常識・疲労医学が解明する最新の疲労回復法とは？」を大阪市立大の梶本修身教授が講演した。それに続き、「事業用自動車

の健康起因事故防止対策」を国土交通省の平井隆志安全政策課長、「運輸業界における健康・安全対策の展望」を労働科学研究所の所長で事業用自動車事故調査委員会の酒井一博委員長、「OCHISとの関わり

10年とわが社の取り組み」を梅田運輸倉庫の岩崎小夜子常務が講演した。

梶本教授は疲労回復には産官学連携疲労プロジェクトで判明した「イミダゾールジペプチド」が有効と紹介する一方「質のよい睡眠」が効果的と説明した。酒井委員長は、労働科学の見地から運転者の運行管理と健康管理が両輪であることを示し、運転者の変調の予兆をつかむことが大事で、就労可否の決断をずるべきと説いた。

平井課長は、健康起因事故の傾向や事業用自動車総合安全プラン2009の取り組み経過を説明しながら、事業用自動車の運転者の健康管理マニュアルの改訂など、国の取り組みを紹介。岩崎常務はOCHISのアドバンスを受けながら取り組んでいる自社の健康管理方法などを紹介した。